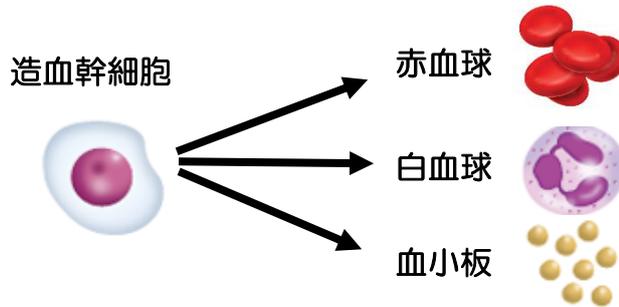


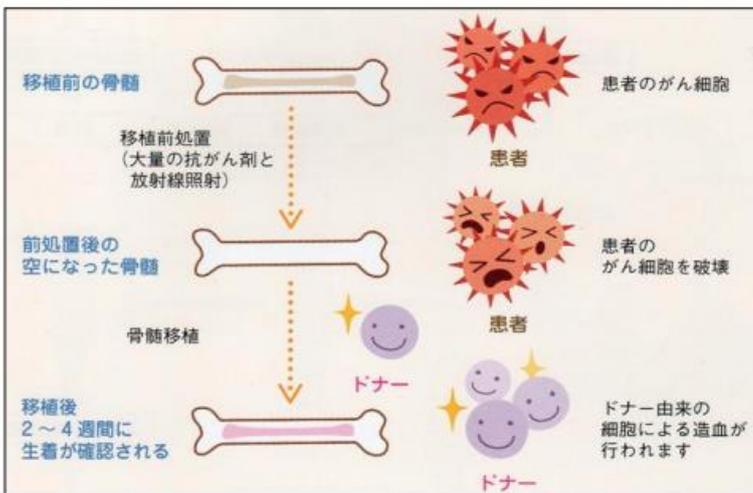
# ラボニュース

## <造血幹細胞移植について>

造血幹細胞とは、赤血球・白血球・血小板のもとになる細胞のことです。造血幹細胞が骨の中心部にある骨髄という組織の中で盛んに細胞分裂をして、赤血球・白血球・血小板が作られます。



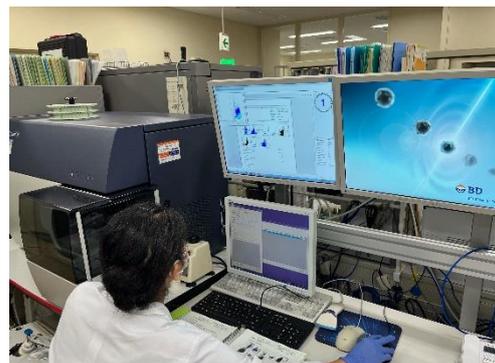
造血幹細胞移植は、通常の抗がん剤だけでは治すことが困難な血液がんなどの病気に対する治療法の1つです。これらの病気に罹患している患者さんは、まず薬や放射線で正常な細胞と一緒にがんの細胞を取り除きます。その後、患者さん自身か提供者（ドナー）から採取した造血幹細胞を点滴投与し、体が正常な造血能力を取り戻すことを目指します。



検査室では、患者さんやドナーさんから採取された血液バッグ中に造血幹細胞がどの程度含まれているかを検査します。バッグ中の細胞数に応じて、細胞を保護するための保存液などを添加して製剤化し、移植までの間、 $-80^{\circ}\text{C}$ で保管しています。



<造血幹細胞の製剤を調整>



<造血幹細胞の量を確認>

＜新たに認定資格を取得しました＞

- ・日本臨床検査技師会 認定一般検査技師 貞谷啓太技師
- ・日本検査血液学会 認定血液検査技師 大長美由貴技師
- ・日本臨床検査同学院 2級臨床検査士（病理学） 槇原有紗技師



＜2023年度 広島県医師会/臨床検査技師会 精度管理調査 最優秀施設賞受賞＞



この度、広島県医師会が主催する臨床検査精度管理調査の最優秀施設として表彰を受けました。本精度管理調査は広島県の参加施設へ癌細胞や微生物などを撮影した画像、血液検体などを配布し、それを受け取った施設は分析結果を報告します。その検査結果を主催者が集計・評価し、参加施設の技術水準や検査精度を明らかにすることで最も優秀な結果となった施設が表彰されます。臨床検査科では、常に正しいデータを迅速に提供することを心がけており、今回このような賞を受賞できたことは大変光栄に思います。今後も質の高い検査結果を提供できるよう臨床検査科一同取り組んでいきたいと思ひます。

＜2023年度の論文掲載＞

- ・医学検査（日本臨床検査技師会誌）

『著名な右心不全を呈した劇症型心筋炎の1例』（松田浩明技師）



症例報告

医学検査 Vol.72 No.2 (2023) pp. 306-312 DOI: 10.14932/jamt.22-85

著名な右心不全を呈した劇症型心筋炎の1例

松田 浩明<sup>1)</sup> 廣井 綾子<sup>1)</sup> 荻野 千尋<sup>1)</sup> 松井 愛良<sup>1)</sup>  
羽原 利幸<sup>1)</sup> 中野 学<sup>2)</sup> 戸田 博子<sup>3)</sup> 瀬崎 伸夫<sup>1)</sup>

1) 公立学校共済組合中国中央病院臨床検査科 (〒720-0001 広島県福山市御幸町大字上岩成 148-13)  
2) 公立学校共済組合中国中央病院循環器内科  
3) 公立学校共済組合中国中央病院病理診断科

A case of fulminant myocarditis with severe right heart failure

・超音波検査技術(日本超音波検査学会誌)

『左室に腫瘍を形成した肺癌心筋転移の1例』(松田浩明技師)



超音波検査技術 vol. 49 No. 1 (2024) 28-35  
doi: 10.11272/jss.414

症例報告

左室に腫瘍を形成した肺癌心筋転移の1例

松田 浩明<sup>\*1</sup>・山田 貴之<sup>\*1</sup>・廣井 綾子<sup>\*1</sup>・荻野 千尋<sup>\*1</sup>・  
門田 有紗<sup>\*1</sup>・松井 愛良<sup>\*1</sup>・田中 浩美<sup>\*1</sup>・松田 綾香<sup>\*1</sup>・  
羽原 利幸<sup>\*1</sup>・檀崎 弘務<sup>\*2</sup>・八杉 昌幸<sup>\*2</sup>・中野 学<sup>\*3</sup>・  
吉田 裕輝<sup>\*1</sup>・戸田 博子<sup>\*4</sup>・瀬崎 伸夫<sup>\*1</sup>

中国中央病院臨床検査科<sup>\*1</sup>、中国中央病院呼吸器内科<sup>\*2</sup>、  
中国中央病院循環器内科<sup>\*3</sup>、中国中央病院病理診断科<sup>\*4</sup>

A Case of the Left Ventricular Tumor Induced by Lung Cancer  
with Myocardial Metastasis

・広島臨床検査(広島県臨床検査技師会誌)

『人材育成の実践 -学術活動の充実と部門間の柔軟な連携体制を目指して-』

(羽原利幸技師)



2 人材育成の実践 -学術活動の充実と部門間の柔軟な連携体制の構築を目指して-

広島臨床検査 Vol.12 2023

総説

人材育成の実践 -学術活動の充実と部門間の柔軟な  
連携体制の構築を目指して-

羽原 利幸

Practice of human resources development: Aim to enhance academic activities and create a  
flexible collaboration system

『心臓原発悪性リンパ腫の1例 -心臓超音波所見を中心に-』(松井愛良技師)



16 心臓原発悪性リンパ腫の1例 -心臓超音波所見を中心に-

広島臨床検査 Vol.12 2023

症例報告

心臓原発悪性リンパ腫の1例  
-心臓超音波所見を中心に-

松井 愛良<sup>1)</sup> 松田 浩明<sup>1)</sup> 廣井 綾子<sup>1)</sup> 三浦 香苗<sup>1)</sup> 小坂 彩香<sup>1)</sup>  
荻野 千尋<sup>1)</sup> 門田 有紗<sup>1)</sup> 田中 浩美<sup>1)</sup> 松田 綾香<sup>1)</sup> 羽原 利幸<sup>1)2)</sup>  
杉山 弘恭<sup>3)</sup> 中野 学<sup>3)</sup> 野村 奈穂<sup>4)</sup> 瀬崎 伸夫<sup>4)</sup>

A case of primary cardiac lymphoma -focusing on transthoracic echocardiography-

『心臓超音波検査を契機に発見された全身性アミロイドーシスの1例』(松田浩明技師)



広島臨床検査 Vol.12 2023

心臓超音波検査を契機に発見された全身性アミロイドーシスの1例 21

症例報告

心臓超音波検査を契機に発見された  
全身性アミロイドーシスの1例

松田 浩明<sup>1)</sup> 山田 貴之<sup>1)</sup> 廣井 綾子<sup>1)</sup> 三浦 香苗<sup>1)</sup> 小坂 彩香<sup>1)</sup>  
荻野 千尋<sup>1)</sup> 門田 有紗<sup>1)</sup> 松井 愛良<sup>1)</sup> 田中 浩美<sup>1)</sup> 松田 綾香<sup>1)</sup>  
羽原 利幸<sup>1)2)</sup> 中野 学<sup>3)</sup> 戸田 博子<sup>4)</sup> 吉田 裕輝<sup>1)</sup> 瀬崎 伸夫<sup>5)</sup>

The transthoracic echocardiography Appearance of systemic amyloidosis

臨床検査科では、日々の臨床検査の中でより正確な検査結果を提供するために、資格取得・論文投稿・学会発表など多くの学術活動を行っています。今後も多くの学術活動を通して知識の習得に努め、質の高い医療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。